

都市鉄道整備事業費補助(地下鉄補助)の概要

地下高速鉄道は、都市における基本的な社会資本であり、国民の日常生活に密接に関連した施設として、大都市における交通混雑の緩和、都市機能の維持・増進に寄与することから、その整備の必要性及び緊急性は極めて高い。このため、新線建設費、耐震対策工事費、浸水対策工事費及び大規模改良工事費の一部を補助し、地下高速鉄道の建設を促進する。

○補助の概要

- ・補助率……………補助対象建設費の約25%
- ・補助対象建設費…新線建設、耐震対策工事、浸水対策工事及び駅施設の大規模改良工事に係る費用
- ※地方公共団体も同様の補助を実施。
- ・補助対象事業者…
 - ・公営地下鉄事業者
(札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、福岡市)
 - ・東京地下鉄(株)

○新線建設

- ・仙台市東西線整備(27年度開業)
 - ・福岡市七隈線延伸(32年度開業予定)
- など、新線建設を推進。



新線建設

○耐震対策

地下鉄利用者の安全確保のため、駅・高架橋等の耐震対策工事を推進。



高架橋の耐震対策

○浸水対策

- ・浸水被害が想定される地下駅等(出入口、トンネル等)について、止水板や防水扉等による浸水対策を推進。



止水板



防水扉



防水ゲート

○駅施設の大規模改良

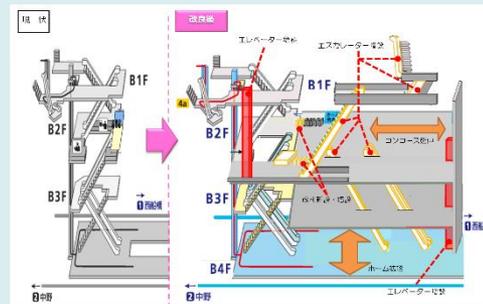
- ・エレベーター等の整備によりバリアフリー化を推進。
- ・接触転落事故等に対応するため、可動式ホーム柵の設置を推進。
- ・平面交差箇所の立体交差化、ホーム・コンコースの拡充等により列車運行の円滑化を図る。



バリアフリー化



可動式ホーム柵の設置



列車運行円滑化